

第 15 回 日本外来小児科学会 予防接種委員会 議事録

2014 年 1 月 13 日 (月) 12:00-15:00

於：ホテル新大阪 東口ステーションビル 401 号室

出席：永井崇雄、落合 仁、武内 一、中村 豊、宮崎千明、
牟田広実、吉川哲史、渡辺 博、藤岡雅司 (9 名)

欠席：岡藤隆夫、田原卓浩、寺田喜平、宮田章子、横田俊一郎 (5 名)

[報告事項]

1. 第 24 回年次集会 (大阪) と会長就任挨拶 (藤岡)
8 月 30 日、31 日 (前夜セミナー 29 日) : 大阪国際会議場等
4 月 6 日 (春季カンファレンス) : 大阪国際会議場
2. 会員の予防接種の意識調査、実態調査 (牟田)
国内での先行研究がほとんどない。3 月 8 日研究班の会で調査結果の一部を藤岡が報告予定、論文では詳細な結果と考察を加筆し、日本小児科学会誌に投稿予定。
3. 水痘ワクチンの有効性調査 (中村)
近畿外来小児科学研究会のパイロット調査では家族内は 3 割程度の有効率しかなかった。学会内委員会等での承認は終わっているので、こどもネットを使い、水痘ワクチンが定期接種化されるまでに速やかに実施予定。
4. 厚生労働省や他団体における最近の状況 (宮崎)
PPV23:65 歳以上 1 回接種、5 歳刻み年齢で実施して 5 年で一回り終了予定。
ロタウイルス：ロタウイルス作業班の中間報告が出され、検討中。
ムンプス：副反応である無菌性髄膜炎の発生率が問題になっている。
HB：B 型肝炎訴訟関連が定期接種化を妨げる方向に影響している。母子感染予防事業はスケジュールが変更された。出生体重 2000g での回数等が検討中。
インフルエンザ：タミフル耐性、ワクチン変異の問題。
風疹：実質的には予算がついていない。十数億では検査分だけ。CRS 診療のマニュアル (国立成育医療センターを中心に) がほぼ完成。
HPV：積極的勧奨中止は継続されているが、年度内にも結論が出る模様？。
水痘：1 歳、2 歳を対象に 2 回の定期接種化。ワクチンが円滑に供給される

かどうか。

5. 日本小児科医会、日本医師会などの関連した動きについて（藤岡）
成育基本法が制定されれば局面が変わる可能性がある。
6. 予防接種システム検討会について（藤岡）
11月23日東海外来小児科学研究会と併催した。「予防接種法を攻略する」と題してWSを開催し、医師29名が参加した。

[協議事項]

1. 第24回年次集会（大阪）の予防接種関係プログラムについて（藤岡）
医師向け：ランチョンセミナー
コメディカル向け：前夜セミナー、予防接種セミナー。
予防接種委員会にはWS企画をお願いしたい→学童教材の検討は？
2. ムンプスワクチンの定期接種にむけて（落合）
副反応としての髄膜炎の年齢別発症率を確認するため、過去の永井論文データを年齢別に検討する。
3. 学童期からの予防接種教育の教材作りについて（落合、武内）
ジェンナー、パスツール、北里柴三郎を紹介する内容で。
4. 次回の委員会開催予定
夏前にでも開催を検討。